

令和5年度 クリニカルラダーレベル新人 評価表

No 1

所属 氏名

項目		小項目	自己評価		教育担当者			
			10月	2月	10月	2月		
目標		1. 指示・手順・ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる 2. 指示・手順・ガイドに従い、ウイメンズヘルスケアができる 3. 地域の母子のケア並びに女性の生涯にかかわる健康相談や教育活動に参加できる					評価基準 4 できる 3 ほぼできる 2 あまりできない 1 できない	
倫理的 力感	グケ のア 姿リ 勢	目標	ケアリングの意味・主要な概念や理論が理解できる					
		実践	1. ケアリングの重要性を理解し、主要な概念をもとに行動できる ①ケアリングの定義と5つのカテゴリーを理解し、関わる事が出来る					
マタニ ティ ケア 能力	妊 娠 期 の 診 断 と ケ ア	情報 収集	目標	支援を受けながら妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活が送れるように妊娠期の情報を理解できる				
			実践	1. 支援を受けながら、妊娠期の健康生活行動診断・経過診断に必要な情報を理解できる ①支援を受けながら、ケアの受け手に必要な身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな側面から情報を収集することができる ②支援を受けながら、ハイリスクの要因について理解し、関連する情報を明らかにすることができる 2. 支援を受けながら、妊婦とその家族に対する課題・ケア方針が理解できる ①定められたフォームに従い、情報収集を行う。 ②支援を受けながら、不足している情報がわかり、必要な追加情報を収集できる				
		ア セ ス メ ン ト の 明 確 化 問 題 (一)	目標	支援を受けながら、収集した健康生活行動診断・経過診断の情報を分析できる 妊娠期の代表的な疾患、マイナートラブルについて理解できる				
			実践	1. 支援を受けながら、得られた情報から健康生活行動診断・経過診断が分析できる ①支援を受けながら、バイタルサイン、検査値、身体の諸計測値のもつ意味が理解できる				
				2. 支援を受けながら、妊娠期の疾患、マイナートラブルについて、正常な範囲内にあるのか、逸脱しているのかわかる ①妊娠各期のマイナートラブルを理解することができる				
		診 断	目標	支援を受けながら、健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる				
			実践	1. 支援を受けながら、妊婦とその家族が心身共に安定・快適な生活がおくれるように妊娠期の健康診断を行うことができる ①支援を受けながら、健康生活行動診断・経過診断によって適切に診断できる 2. 支援を受けながら、妊婦・胎児の状態に合わせ標準的に観察ができる。観察する意味と関連項目を理解し正常から逸脱する場合の異常値(データなど)の出現時に、助言を受けながら対応できる ①支援を受けながら、現在および今後の妊娠経過に関する異常を発見または予測できる				
		計 画 立 案	目標	支援を受けながら、妊婦の状態、問題リスト、目標に一貫性がある計画がたてられる				
			実践	1. 助産ケア基準・標準助産計画を活用し、妊娠経過に沿った計画が立案できる ①支援を受けながら、妊娠経過に沿った計画を立案する 2. 支援を受けながら、妊婦のニーズ、パースプランに沿って目標を設定できる ①妊婦の現在の状態およびニーズ、パースプランを理解できる				
		実 践	目標	支援を受けながら、受け持ち妊婦の助産計画に沿ってケアができる				
			実践	1. 支援を受けながら、助産ケア基準・手順に沿って正しくかつ安全に実践できる ①助産ケアを行う前に説明ができる ②治療および診断上必要な観察を行い、適切に報告できる 2. 妊産婦・新生児における緊急時の対応を理解している ①母体救命講習会・新生児蘇生法および乳幼児安全教室に参加し、緊急時の対応を学習する ②緊急時に人を集めることができる ③日本助産評価機構オンデマンド研修「災害時対応」を受講する				
		評 価	目標	支援を受けながら提供した助産ケアの結果を正しく報告できる				
実践	1. ケアを振り返る姿勢を持つことができ、妊婦や家族が示す反応を捉えることができる ①医療機関における助産ケアの質評価を用いてケアの効果を確認することができる ②助産ケアにおいてわからないことが言える(相談できる) ③実施した結果を正しく記録できる							

項目	小項目	自己評価		教育担当者		
		10月	2月	10月	2月	
専門的自立能力	教育	目標	継続教育プログラムの意義を理解できる			
	実践	1. 自己のレベルに合った院内外の研修や勉強会に参加する ①富山県看護協会、富山県助産師会、日本助産師会、日本母性衛生学会の研修会に参加する				
倫理	目標	職業人として自覚をもち、倫理に基づいて行動できる				
	実践	1. 看護者の倫理要領が理解できる ①倫理セミナーに参加および日本助産実践能力推進協議会オンデマンド研修を受講する ②医療倫理コンサルテーションチーム主催の「いのちの教室」、または助産師が行う性教育を見学する				
ウイメンズヘルスケア能力	観フ女性 対象点サ性の 理解イのク 解のライ	目標	女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況について学習できる			
		実践	1. 女性のライフステージ(思春期・成熟期・中高年期・老年期)と身体の変化について学習できる ①産婦人科医による講義を受講し確認する 2. ウイメンズヘルスケアについて学習できる。 ①★日本助産師評価機構オンデマンド研修「ウイメンズヘルスケア提供のための基礎能力」			
	妊娠から 子育て期 における の支援	目標	生涯を通じた女性の健康支援について学ぶことができる			
		実践	1. 妊娠、出産、育児に関する女性の性周期、身体、精神と社会的機能や役割の変化に伴うメンタルヘルスについて学習できる。 ①産前産後のメンタルヘルスに係る基本的知識を学ぶ ★学研e-ラーニング「妊産婦のメンタルヘルス」 ②産後ケアWG会議での事例検討会に参加する ③産婦人科外来で行われる妊婦健診、産後の健診を見学する ④産後のマイナートラブルについて学習する ⑤骨盤ケア・リラクスケアについて学習する			
			2. 母乳育児支援について学習できる。 ①母乳育児支援、児との愛着形成と親役割獲得について学習する。 ②母乳に関する研修を受講する。 ③授乳期の薬と栄養について学習する。			
			3. 新生児から生後1年までの発育・発達の変化について学習できる ①新生児・乳児のフィジカルアセスメントを学習する。 ②離乳食について学習する			
	4. 妊娠から子育て期において特に支援を要する母親とその家族について学習できる。 ①保健師による講義、または助産師による講義に参加する。 ②児童虐待防止の支援のあり方について学ぶ ★学研e-ラーニング「児童虐待における病院の役割」					
	現代女性の 健康問題	目標	現代女性の健康問題について学習できる			
		実践	1. 性感染症・子宮頸がんワクチンについて学習できる。 ①産婦人科医による講義、または性感染症、子宮頸がんワクチンに関する研修に参加する。 2. 女性に対する暴力(ハラスメント)について学習ができる。 ①★日本助産実践能力推進協議会オンデマンド研修「女性に対する暴力予防の支援」またはハラスメントに関する研修に参加する。			
	セク シュ アル 多 様 性	目標	多様な性について学習できる			
実践		1. 家族計画について学習できる。 ①家族計画に関する研修に参加する。 2. 多様な性について学習できる。 ①★学研e-ラーニング「医療従事者が知っておきたいLGBTへの理解」				
		自己評価		評価者のコメント		
10月						
2月						

総合評価 合 否

令和 年 月 日 部長印

評価者 印
所属長 印